

2. 可住地面積比率

時点 昭和62年10月1日  
 単位 %

順位	都道府県名	数 値	順位	都道府県名	数 値
1	大阪府	68.2	24	兵庫県	31.6
2	埼玉県	66.7	25	山形県	30.7
3	◎千葉県	66.1	25	岡山県	30.7
4	茨城県	62.7	27	青森県	30.6
5	東京都	62.4	28	福島県	29.6
6	神奈川県	59.2	29	愛媛県	28.8
7	佐賀県	56.2	30	山口県	28.3
8	愛知県	55.9	31	大分県	28.0
9	福岡県	54.2	32	北海道	27.9
10	香川県	52.3	33	秋田県	26.6
11	沖縄県	46.7	34	広島県	26.5
12	栃木県	44.3	35	鳥取県	25.4
13	富山県	43.3	36	福井県	24.7
14	宮城県	42.1	37	京都府	24.6
15	長崎県	41.2	38	徳島県	24.5
16	新潟県	36.3	39	長野県	24.2
16	熊本県	36.3	40	宮崎県	23.7
18	鹿児島県	35.6	41	岩手県	23.6
19	群馬県	34.9	42	和歌山県	23.2
20	静岡県	34.6	43	奈良県	22.4
21	三重県	34.0	44	山梨県	20.6
22	石川県	33.1	45	岐阜県	19.2
23	滋賀県	32.0	46	島根県	18.8
-	全国	32.0	47	高知県	16.5

摘    要	<p>・資料 総務庁統計局「社会生活統計指標」</p> <p style="text-align: center;">(総面積) - { (林野面積) + (主要湖沼面積) }</p> <p>・比率 = <math>\frac{\text{(総面積)} - \{ \text{(林野面積)} + \text{(主要湖沼面積)} \}}{\text{(総面積)}} \times 100</math></p> <p>・主要湖沼とは、面積1 km<sup>2</sup>以上の湖沼のうち、人造湖(ダム)以外のもの              で、昭和30年10月1日現在の5万分の1地形図(国土地理院発行)上で測              定した面積を基準とし、昭和30年以後埋め立て、干拓等によって陸地化し              た区域を差し引いたものである。</p> <p>・可住地面積は、3,404 km<sup>2</sup>で全国6位。</p>
--------------------	--